

# はじめに

教育要覧「わらびの教育」の発刊にあたり、関係者の皆様には、日頃から蕨市教育行政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、蕨市教育委員会では、教育基本法第17条第2項の規定に基づく、蕨市における教育振興の施策に関する基本的な計画として、平成27年に「蕨市教育振興基本計画（平成27年度～令和元年度）」、令和2年には、この計画を継承しつつ将来を見据えた見直しを図った「第2期蕨市教育振興基本計画（令和2年度～6年度）」を策定し、市の目指すべき教育の姿と、取り組むべき施策の方向性を明らかにしながら、計画的に教育行政を推進しております。

同計画では、教育を取り巻く環境の変化や、蕨市の教育の状況を踏まえ、基本理念を「生きる力を育み ともに学び 未来を拓く蕨の教育」と定め、施策を実施していくにあたり、「確かな学力と豊かな人間性をもち たくましく生きる子供の育成」「交流の輪を広げる 生涯を通じた学びの支援」の2つの基本方針を掲げております。

また、この基本理念及び基本方針を踏まえ、教育行政を取り巻く現状に適切に対応していくために、「学びあい高めあう学校教育の充実」「生涯学習を支える社会教育の充実」「どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実」の3つの基本目標を掲げるとともに、当該年度に行う重点的な取り組みを「蕨市教育行政の重点施策」として定め、蕨市教育の振興及び充実に努めてまいります。

本要覧は、蕨市教育委員会における教育行政全般及び各教育機関の諸活動の概要をまとめたものです。本要覧をご高覧いただき、蕨市の教育行政についてご理解をいただきますとともに、よりいっそうのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年11月

蕨市教育委員会  
教育長 松本 隆男

# 蕨市の概況

蕨市は、埼玉県の南東部、東京都心から約20km圏内に位置しており、その地形は、北方に広がる大宮台地と、南方をほぼ東流する荒川との間に形成された自然堤防と後背湿地からなり、ほとんど起伏のない平坦な地形となっています。北は県都さいたま市、北から東にかけては川口市、南から西にかけては戸田市と接する市域は、東西3.5 km、南北1.7 kmの長方形をなし、面積が5.11 km<sup>2</sup>の日本一小さな市です。

蕨市では、弥生時代末期から古墳時代初頭にかけての遺跡が確認されており、室町時代には、有力武士の渋川氏が館を構え、蕨城を築いたといわれています。江戸時代には、中山道の宿場町(蕨宿)として栄え、幕末からは双子織をはじめとした綿織物の製造が盛んとなり、綿織物業の中心として発展しました。

また、第二次世界大戦では、3回の空襲を受け、埼玉県内では熊谷市に次いで2番目に大きな被害を受けました。終戦直後の昭和21年（1946年）には、虚脱状態だった若者を励まそうと、青年団が中心となり「青年祭」が開催され、そのなかで全国に先駆けて「成年式」が行われました。これが現在の成人式の発祥（蕨市では当時のまま「成年式」として開催）となっています。

戦後から現在にかけては、首都圏の拡大とともに、地理的条件や高い交通利便性を生かすことによって、首都近郊の住宅都市として発展してきました。現在では、市内全域に住宅が密集し、7万5,000人以上が暮らす、人口密度日本一のまちとなっています。さらに、公民館をはじめとしたコミュニティ施設が各地区に整備されるなど、市民にとって日常生活を送る上での生活利便性が高いことも大きな特徴です。

市ではこうした状況を踏まえ、平成26年度から10年間を計画期間とした最上位計画『コンパクトシティ蕨』将来ビジョン」を策定し、まちの将来像「安心とにぎわい みんなにათათかい 日本一のコンパクトシティ蕨」の実現を目指してきました。さらに、平成31年には、同計画のこれまでの取り組みを検証するとともに、本市をめぐる諸情勢の変化を踏まえた後期実現計画を策定し、各施策の推進に取り組んでいます。

# 教育委員会

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）」に基づき、教育に関する事務等を運営・執行することを目的として設置された合議制の執行機関であり、市長が市議会の同意を得て任命した教育長(任期3年・再任可)及び4人の委員（任期4年・再任可）により構成されています。教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。

教育委員会の会議は毎月開催する定例会と必要に応じて開催する臨時会があり、教育行政の基本方針の決定や例規改正などの議案を審議します。

## 教育長・委員



教育長  
松本 隆男



教育長職務代理者  
萩原 敏行



委員  
小島 奈津子



委員  
尾方 香里



委員  
石山 大介

職名	氏名	現在の任期 ※
教育長	松本 隆男	令和4年4月23日～令和7年4月22日
教育長職務代理者	萩原 敏行	令和4年12月19日～令和8年12月18日
委員	小島 奈津子	令和5年9月25日～令和9年9月25日
委員	尾方 香里	令和3年3月15日～令和7年3月14日
委員	石山 大介	令和5年4月1日～令和6年12月8日

※令和5年11月現在

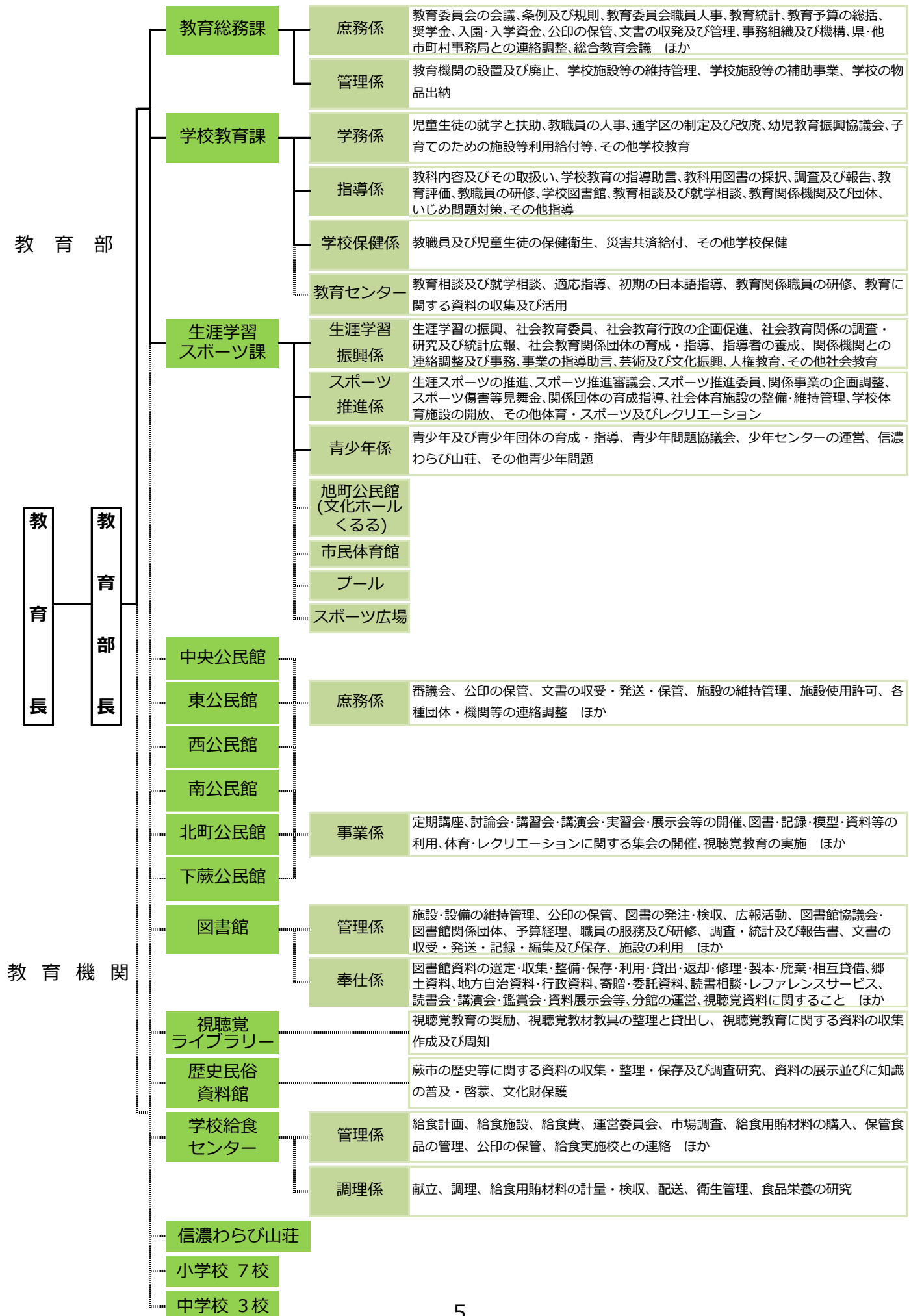
## 教育委員会会議の開催状況

項目 年度	開催回数			審議件数				
	定例会	臨時会	計	条例・規則等の 制定・改廃	基本方針等 協議	人事に 関すること	各種行政委員 任命・委嘱	合計
令和 2年度	12回	1回	13回	6件	23件	4件	28件	61件
令和 3年度	12回	1回	13回	9件	21件	3件	18件	51件
令和 4年度	12回	1回	13回	10件	19件	3件	25件	57件

## 令和4年度 教育委員の主な活動内容

	教育委員会会議	学校訪問等	その他の出席行事等
4月	令和4年第5回(定例会)		
5月	令和4年第6回(定例会)		
6月	令和4年第7回(定例会)	・中央東小学校	
7月	令和4年第8回(定例会)		
8月	令和4年第9回(定例会)		
9月	令和4年第10回(定例会)		
10月	令和4年第11回(定例会)	・北小学校 ・西小学校 ・南小学校 ・東小学校	・総合教育会議
11月	令和4年第12回(定例会)	・第一中学校	
12月	令和4年第13回(定例会)		
1月	令和5年第1回(定例会)	・中央小学校	
2月	令和5年第2回(定例会) 令和5年第3回(臨時会)	・東中学校 ・塚越小学校	・総合教育会議
3月	令和5年第4回(定例会)		

## 教育委員会組織機構図・事務分掌



# 蕨市の教育行政

## 1. 蕨市教育振興基本計画

蕨市では、教育基本法第17条第2項の規定に基づき、市の目指すべき教育の姿と、取り組むべき施策の方向性を明らかにし、教育行政を総合的に推進していくため、平成27年に「蕨市教育振興基本計画（平成27年度～令和元年度）」を策定しました。令和2年には、この計画を継承しつつ、将来を見据えた見直しを図った「第2期教育振興基本計画」（令和2年度～6年度）を策定し、その実現に向けて、さまざまな施策に取り組んでいます。

### — 蕨市の教育の目指す姿 —

基本理念 「生きる力を育み ともに学び 未来を拓く蕨の教育」

基本方針Ⅰ 確かな学力と豊かな人間性をもち たくましく生きる子供の育成

Ⅱ 交流の輪を広げる 生涯を通じた学びの支援

基本目標① 学びあい高めあう学校教育の充実

② 生涯学習を支える社会教育の充実

③ どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実

### 基本理念 「生きる力を育み ともに学び 未来を拓く蕨の教育」

これまで蕨市では、市民と市民、市民と行政とがお互いに協力し合うまちづくりを進めるとともに、生涯学習を推進し、その学習成果が「人づくりやまちづくり」に生かされ、市民が主体的にまちづくりに参画できる「生涯学習のまち蕨」を築いてきました。このことは蕨市にとって大きな財産であることから、今後も、これまでの姿勢を継続し、全ての市民が生涯を通じて学びあえる環境づくりを進めることが大切であると考えます。

そのような中、現在の子供たちが社会を担うことになる未来は、グローバル化や少子高齢化など、環境が大きく変化することが想定され、我が国や蕨市の未来を担う人材を育成する教育の使命はますます重要となっています。

そこで、社会がどのように変化しようとも、特に、子供たちが自らの力で人生を切り拓いていくために必要な「生きる力」を育てたいと考えます。そして、人と人とのつながりを大切に、学びを通して「自己肯定感」を育み、夢や志を持って幸福な生涯を実現するとともに、社会で役割を果たすことのできる人を育成することを目指します。

また、人を育てるには、学校だけでなく、家庭・地域を含めた社会全体が一体感を持ち協力することが必要です。子供も大人も生涯を通じた学びの中で、互いが助け合い、成長し合うことにより、「人が育ち、まちが育つ“蕨”」でありたいと願います。

## **基本方針Ⅰ 確かな学力と豊かな人間性をもち**

### **たくましく生きる子供の育成**

子供たちに、「生きる力」を支える確かな学力や豊かな心、健やかな体など、社会的に自立して生きていくための基礎となる力を育む教育を推進します。

また、基礎・基本を確実に身に付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動することにより問題を解決する力を養います。

さらに、他者と協調し、他者を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を育み、自分の命と同様に全ての命を大切にできる心を育てます。

そして、子供たちがたくましく生きるためには、自分を大切に思える心や感情をコントロールする力、健康や体力を保持・増進する力を身に付けることが必要です。

蕨市の子供たちが、豊かな人間関係の中で「生きる力」を育み、将来、幸福な生涯を送り、社会に貢献することを願い、学校・家庭・地域の連携を進め、次代を担う子供たちの育成と学びの支援に取り組みます。

## **基本方針Ⅱ 交流の輪を広げる**

### **生涯を通じた学びの支援**

一人ひとりの心の豊かさ、生きがい、人と人とのつながりを醸成するため、市民の主体的かつ自主的な学習・スポーツ活動を充実させるとともに、誰もが生涯を通じて自由に学び、その成果を地域活動に生かせる環境を創出します。

さらに、「生涯学習社会」の実現のため、個人の生涯学習活動の成果を地域で生かし、まちづくりに寄与していくための仕組みを構築します。

※生涯学習社会：人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が社会において適切に評価される社会のこと。



## 2. 令和5年度蕨市教育行政の重点施策

蕨市教育委員会では、蕨市教育振興基本計画の基本理念、基本方針を踏まえ、蕨市のさらなる振興及び充実を図るため、本計画に定める3つの基本目標、施策及び施策の展開に応じて、当該年度に行う重点的な取り組みを「蕨市教育行政の重点施策」として策定し、各種施策の推進に努めてまいります。なお、今年度は、重点施策を次のとおり定め、各種施策を展開しています。

### 基本目標① 学びあい高めあう学校教育の充実

少子高齢化や核家族化などが進む中、生涯にわたって自己実現を目指す自立した「生きる力」を持った人間を育成するために、蕨市ならではの魅力ある教育活動を展開し、学校教育の各取り組みの充実を図ります。

そのために、蕨市全体の学校教育の目標のほか、各学校における教育目標を定め、一人ひとりを確実に伸ばす教育を徹底します。

また、社会状況に応じた情報教育や環境教育、国際理解教育等を推進します。

さらに、各学校の創意工夫により特色ある教育活動を展開し、少人数学級の推進や支援員の配置などにより学校生活や学習支援の充実を図るとともに道徳教育や福祉教育、ボランティア体験などを通して豊かな心と健やかな体を育む教育に取り組みます。

一方で、計画的・継続的な人材育成により教職員の指導力の向上を図るとともに、快適な学習環境を確保するための学校施設の整備など、学習指導要領に対応した学習環境の充実に努めます。

学校や家庭、地域の連携を推進することで地域に根ざした学校づくりを推進しつつ各取り組みを総合的に進め、それぞれが持つ力を存分に発揮することで「知・徳・体」の調和のとれた、児童・生徒を育成することを目指して、学びあい高めあう学校教育の充実を図ります。

#### 施策1 教育内容の充実

- 施策の展開
- (1) 自ら学び自ら考える児童・生徒の育成
  - (2) 蕨らしい魅力ある教育活動の展開
  - (3) 豊かな心と体を育む教育の展開
  - (4) 学校給食の充実
  - (5) 特別支援教育の充実
  - (6) 教職員の指導力の向上と人材の確保
  - (7) 国際理解教育の充実

#### 施策2 教育環境の充実

- 施策の展開
- (1) 学校施設の機能充実
  - (2) 学校安全の向上

#### 施策3 地域に根ざした教育の展開

- 施策の展開
- (1) 家庭・学校・地域の連携
  - (2) 家庭などに対する支援
  - (3) 地域防災活動の支援と担い手の育成
  - (4) 家庭教育における意識の向上



## 基本目標② 生涯学習を支える社会教育の充実

社会の大きな変化に対応し、心の豊かさ、生きがい、人と人とのつながりを醸成していくため、市民の主体的かつ自主的な学習活動を支える社会教育を充実し、市民一人ひとりが生涯を通じて自由に学び、その成果を社会参加活動に生かせるような環境づくりを推進します。あわせて、芸術・文化団体等の活動を支援し、かつ歴史・文化資源の保存と活用を図ることで、素晴らしい文化の薫るまちを目指します。

また、未来を担う青少年が健やかに成長できるように、家庭や学校、地域が連携して青少年を見守るとともに、社会参加や地域活動の機会を充実させ、さまざまな体験学習ができる環境を整えます。

さらに、社会が複雑化・多様化する中で、市民がお互いを尊重しながら、安心して暮らせるように、あらゆる機会を活用して人権意識の高揚を図るとともに、平和を愛する心を醸成します。

### 施策1 学習環境と学習機会の充実

- 施策の展開
- (1) 学習環境の充実
  - (2) 多様な学習機会の提供
  - (3) 生涯学習情報の発信
  - (4) 図書館サービスの充実
  - (5) 子育てしやすい環境づくり
  - (6) 家庭教育の支援
  - (7) 国際交流・多文化共生に向けた支援

### 施策2 生涯学習推進体制の整備

- 施策の展開
- (1) 生涯学習推進体制の充実
  - (2) 生涯学習に関する団体の支援と地域の人材活用

### 施策3 青少年の活動機会などの充実

- 施策の展開
- (1) 青少年の活動機会の充実
  - (2) 自然体験活動の充実
  - (3) 青少年を見守る活動の充実

### 施策4 芸術・文化活動の振興

- 施策の展開
- (1) 芸術・文化活動団体の支援と地域の人材活用
  - (2) 芸術・文化活動の発表と鑑賞機会の充実

### 施策5 歴史・文化の保存と活用

- 施策の展開
- (1) 歴史資料に関する調査・研究の推進
  - (2) 歴史民俗資料館における事業の充実

### 施策6 人権・平和意識の高揚

- 施策の展開
- (1) 市民の人権意識の高揚
  - (2) 人権教育の推進
  - (3) 市民の平和意識の高揚

### 基本目標③ どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実

健康意識の向上とともに、スポーツ・レクリエーション活動への関心が高まっており、体を動かすことで得られる喜びや満足感、人との触れ合いで得られる連帯感は、生涯にわたる健康づくりや生きがいづくりに欠かせない要素となっています。

そのため、スポーツ・レクリエーションに関する情報が容易に入手できる仕組みの構築や、施設利用の利便性の向上を図り、気軽に活動ができる環境を整備します。

また、スポーツ関係団体への支援や指導者の養成を促進するとともに、多様な活動の機会の充実を図ることで、市民だれもが生涯にわたって、主体的に取り組み、親しめる環境づくりを進めます。

#### 施策1 スポーツ・レクリエーション活動の推進

- 施策の展開 (1) スポーツ・レクリエーション環境の充実  
(2) 多様なスポーツ・レクリエーション機会の充実

#### 施策2 スポーツ・レクリエーション推進体制の充実

- 施策の展開 (1) 生涯スポーツを推進する体制づくり  
(2) スポーツ団体の支援と地域の人材活用

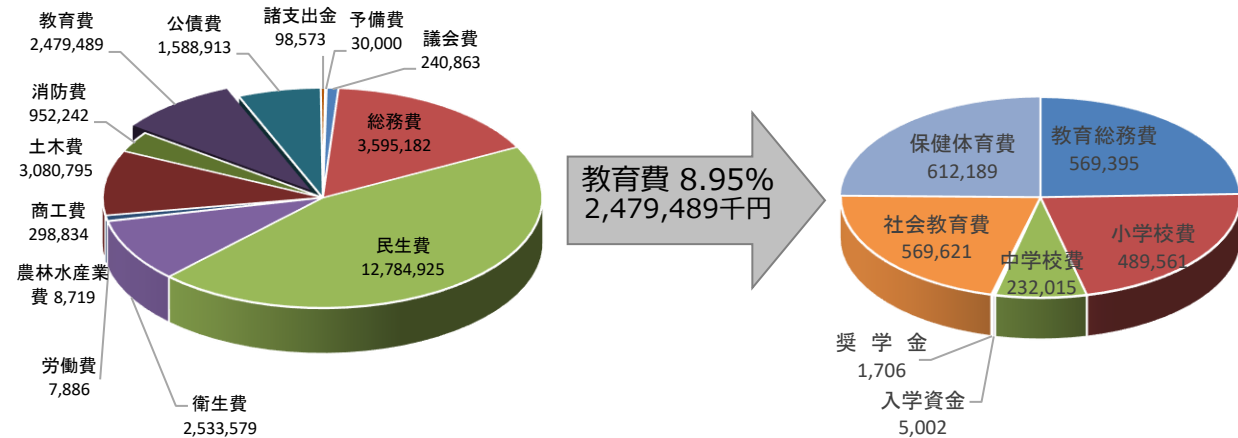
※12ページから58ページにおいて、各施策の主な事業や取り組み、施設などについて掲載しています。

なお、一部の掲載事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・延期、または内容を変更して実施しています。

# 教育費予算

一般会計 (27,700,000千円)

教育費 (2,479,489千円)



## 教育費の推移

(単位: 千円)

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般会計	29,884,900	30,638,001	27,700,000
教育費	2,395,195	2,348,250	2,479,489
一般会計に対する教育費の割合	8.01%	7.66%	8.95%

## 人口1人当たりの教育費の推移

(単位: 円)

区分	4月1日現在人口 (人)	教育費 (人口1人当たり)							
		教育総務費	小学校費	中学校費	入学資金	奨学金	社会教育費	保健体育費	合計
3年度	75,841	7,798	4,368	5,558	13	6	6,069	7,770	31,582
4年度	75,313	7,516	6,475	2,304	9	6	6,596	8,274	31,180
5年度	75,195	7,572	6,511	3,086	66	23	7,575	8,141	32,974

## 児童1人当たりの教育費 (小学校費) の推移

区分	5月1日現在児童数 (人)	小学校費					
		学校管理費 (千円)	児童1人当たり (円)	教育振興費 (千円)	児童1人当たり (円)	合計 (千円)	児童1人当たり (円)
3年度	3,153	206,778	65,581	124,510	39,490	331,288	105,071
4年度	3,152	368,944	117,051	118,706	37,660	487,650	154,711
5年度	3,204	342,712	106,964	146,849	45,833	489,561	152,797

## 生徒1人当たりの教育費 (中学校費) の推移

区分	5月1日現在生徒数 (人)	中学校費					
		学校管理費 (千円)	生徒1人当たり (円)	教育振興費 (千円)	生徒1人当たり (円)	合計 (千円)	生徒1人当たり (円)
3年度	1,348	342,781	254,289	78,761	58,428	421,542	312,717
4年度	1,392	113,818	81,766	59,694	42,883	173,512	124,649
5年度	1,411	161,618	114,541	70,397	49,892	232,015	164,433

※令和3・4年度は決算額、5年度は予算額にて積算。